

上野原市子どもの読書活動推進計画

令和4年3月
上野原市教育委員会

目 次

第1章 実施計画の策定にあたって	1
1 はじめに	1
2 子どもの読書活動の現状	2
第2章 実施計画について	3
1 目的	3
2 期間	3
3 方針	3
第3章 実施計画推進のための取り組みについて	4
1 「家庭」における子どもの読書活動の推進	4
2 「図書館」・「地域」における子どもの読書活動の推進	6
3 「学校等」における子どもの読書活動の推進	6
4 関係機関の連携・協力による子どもの読書活動の推進	7
関係資料	
1 子どもの読書活動の推進に関する法律（要旨）	8
2 国・県の基本計画（期間）	9
3 アンケート調査の内容及び集計結果	10

第1章 実施計画の策定にあたって

1 はじめに

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」です。

(「 」内、子どもの読書活動の推進に関する法律 第2条より抜粋 ※1)

乳幼児期の読み聞かせ体験は言葉を学ぶだけでなく、保護者の声や抱かれた肌のぬくもりを通して愛情を感じ取り情緒の安定を得るとともに、その楽しさを読み手と共有することで、非言語のコミュニケーション能力を身に付けていく効果を持ちます。成長につれ、子どもは物語の中の主人公と自分を重ねて楽しむ読書から、主人公と自分を分け、物語を客観的に見つめる読書ができるようになります。やがて、読書体験と自分の実体験とを照らし合わせ、比較し、重ねたりすることで、自分の知識や経験が社会の中でどのような意味を持つのか等を理解するようになっていきます。

このような、非常に重要な意義を持つ子どもの読書活動について、社会全体で子どもの読書活動を推進していこうとする取り組みが始まり、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立しました。これを受け、平成14年8月に国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(以下、「基本計画」という。)が策定され、平成20年3月に「第二次基本計画」、平成25年5月に「第三次基本計画」が策定されています。

国の「第三次基本計画」では、国の施策の方向性として平成24年から平成34年までの10年間で不読率を半減させること、また、市町村の推進計画策定率について、市にあっては100%、町村にあっては70%以上、推進計画を策定すること、また、子どもと本をつなぐ全ての人の連携・協力の促進を図るための体制整備の推進を支援することが示されています。

平成29年3月、山梨県は、国の「第三次基本計画」と「やまなし教育大綱 ※2」及び「新やまなしの教育振興プラン ※3」を基本とし、県の第2次実施計画の取組の成果と課題を踏まえた「第3次実施計画」を策定して、市町村、民間団体等による子どもの読書活動を推進するための指針と子どもの読書活動の推進に関する施策や取り組みの方向を示しており、目標を数値化して示す等、関係各団体と連携した具体的な取り組みを進めています。

この度、上野原市も子どもの読書活動を推進していくために、令和4年から令和8年を期間とした上野原市『読書活動推進計画』を策定しました。

この推進計画では、国の「第三次基本計画」、県の「第3次実施計画」を踏まえつつ、上野原市の地域性に基づいた読書活動推進計画の方針や、国や県の目標設定に即した具体的な取り組みについて明示しており、家庭や地域、市立図書館、学校図書館、民間施設、民間団体、小中学校、高等学校、上野原市、その他関係機関等の連携・協力により、子どもの読書活動を推進します。

※1 子どもの読書活動の推進に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにした法律。

ここでいう「子ども」とは概ね18歳以下の者をいう。

※2 知事と教育委員会が協議を行い、平成28年2月に知事が定めた本県教育の教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策。

※3 時代の要請に的確に応えながら、本県教育の一層の振興を図るため、平成26年度から平成30年度までの5年間で計画期間として教育委員会が策定した教育振興の基本計画。

2 子どもの読書活動の現状

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、インターネット、スマートフォン等、さまざまな情報メディアに囲まれて過ごしており、興味や関心が多様化し、生活習慣も変化しています。

このような状況の下、文部科学省の委託により平成29年1月に「子どもの読書活動の推進等に関する調査研究報告書」概要版 ※1 が実施され、子どもの読書活動は、学校段階・学年が上がるにつれて読まなくなるといった傾向が示されました。

学校についての分析では、児童・生徒が本をよく読んでいる学校には、「学校として読書に関する計画を立てている」「教職員に対する研修を実施している」「学校司書が配置されている」「学校図書館の活動等を支援する組織がある」「児童・生徒から認識される充実度合いが高い学校図書館を整備している」「読書週間でのイベントや一斉読書の時間の設定などの読書活動により力を入れている」などの特徴があげられました。

また、家庭においては、「家庭での蔵書数が多く、また、家族に本を買ってもらったり紹介してもらったりする児童・生徒のほうが本を読んでいる」、小学生では、「テレビ等を見る時間やゲームで遊ぶ時間が長いほど、読書時間が短い」、中学生・高校生では、「メール等をする時間が長いほど、読書時間が短い」ようです。高校生では、「部活動等の時間や、塾等に行く時間が長い生徒も、読書時間が短い」という結果が報告されています。

一方、マンガ・雑誌を読む時間や勉強・宿題をする時間が長い児童・生徒では、「読書時間も長い」ことがわかり、こうした活動は、読書活動を阻害しているわけではないことがわかりました。

※1 詳細は、別添「子供の読書活動の推進等に関する調査研究報告書概要版」参照

出典：文科省HP>子ども読書の情報館>関連データ・資料等より

第2章 実施計画について

1 目的

子どもたちは、読書活動を通して、言葉を学び、多くの知識を身につけ、深く考える力をつけていきます。また、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしていくためにも、読書活動は大変重要です。子どもの健やかな成長に読書は欠くべからざるものであり、豊かな人生を送るためにもなくてはならないものです。

この計画は、家庭・学校・地域・図書館等が連携しながら子どもの読書活動を推進して、子どもが読書に親しむ気運を高めると共に、市民全体が読書に親しみ読書を通して、心豊かな生活を送ることができるような環境整備や施策の推進に努めることを目的とします。

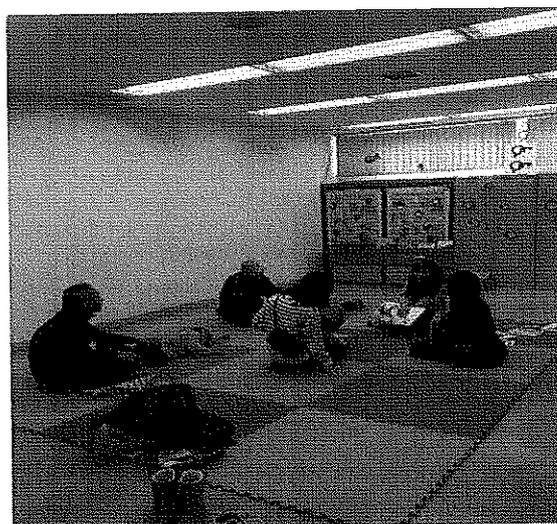
2 期間

実施計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

3 方針

上野原市は、次の取り組みを通じ、本計画の推進を図ります。

- ① 子どもの読書活動を推進する 地域づくり
- ② 子どもの読書活動を推進する 人材の育成
- ③ 子どもの読書活動を推進する 環境整備・充実
- ④ 子どもの読書活動を推進する 普及・啓発
- ⑤ 子どもの読書活動を推進する 関係機関の連携・協力



第3章 実施計画推進のための取り組みについて

○子どもの読書活動の推進のためには、具体的取り組みを、それぞれの立場から着実に進めていくことが必要です。「家庭」「地域」「学校」「図書館」等で、「連携して」取り組むべき具体的事項をまとめました。

1 「家庭」における子どもの読書活動の推進

家庭は、子どもにとって一番リラックスできる安全・安心な場所であり、自由な姿勢で本に向かえ、その本の世界に没頭できる貴重な空間です。家族協議等で工夫して、いつもの暮らしの中に本に集中できる時間帯を設ける等、家族で読書を楽しむ環境を整えていくことも必要です。

家庭における読み聞かせ等の読書活動では、家族のふれ合いやコミュニケーションを深めることができます。保護者は、読書習慣を子どもの頃から身につけることの重要性について十分に理解し、読書が生活の一部として継続的に行われるよう、自身も読書に親しみつつ、子どもの読書活動に積極的に関わっていくことが必要です。

山梨県でも具体的方策の一つとして『家読（うちどく）推進運動』の取り組みを行っており、毎月第1日曜日を「家庭の日」、毎月第3日曜日を「青少年を育む日」として提唱するとともに、『家読100選』の情報発信を行い、年代に応じた推薦図書を紹介しています。※

上野原市も、県の事業や施設と連携し、家庭での子どもの読書活動について普及・啓発していきます。

<具体的な取り組み>

- ①家族で近くの公立図書館等を利用し、好きな作家の本、お薦めの本、気になる本を借ります。
※学校図書室等からの図書情報を家族で共有し、休日には身近な図書館を体験してみましょう。
- ②家庭は子どもの読書活動の始まりであり基本であることを理解し、子どもの読書意欲を高め、読書週間を身につけさせるように努めます。
- ③市立図書館や県立図書館等で行われる講演会や読み聞かせ会、研修会などのイベントに積極的に参加したり、本を借りたり、資料や関連情報の検索を手伝ってもらおう等、生活の中に図書館の多目的機能を存分に取り込みます。

→市立図書館は、初めて利用される方でも安心して本を借りていただけるよう、子どもの年代に応じた推薦図書等の情報提供を行っています。(例示 HP, 館内掲示等)

<目安となる数値目標>

■市の数値目標

●図書館の非利用率（全く利用しない人の割合 アンケート結果より）

- ・小学校 R3年度 53.7% → R8年度 44%（目標）
- ・中学校 R3年度 76.0% → R8年度 60%（目標）

●不読率（読書をしない人の割合 アンケート結果より）

- ・小学校 R3年度 10.9% → R8年度 4%（目標）

・中学校 R3年度 19.2 % → R8年度 9 % (目標)

■県の数値目標：第3次山梨県子ども読書活動推進計画より

●図書館・図書室の非利用率（全く利用しない人の割合）

典拠「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)より

・小学校 H27年度 22.9 % → H33(R3)年度 14 % (目標)

・中学校 H27年度 41.6 % → H33(R3)年度 25 % (目標)

●不読率（学校の授業以外で読書をしない人の割合）

典拠「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)より

・小学校 H27年度 17.5 % → H33(R3)年度 11 % (目標)

・中学校 H27年度 29.2 % → H33(R3)年度 18 % (目標)

□国の数値目標：子どもの読書活動推進に関する基本的な計画（第三次）より

○不読率（国の目標）

典拠「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)より

10年後(H34年度)に、

・小学校 H24年6月 4.5 % → R4年度 2 % 以下 (目標)

・中学校 H24年6月 16.4 % → R4年度 8 % 以下 (目標)

・高校 H24年6月 53.2 % → R4年度 26 % 以下 (目標)

・あわせて、読書の量のみならず、幅を広げ質を高める。

2 「図書館」・「地域」における子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動を推進するためには、いつでもどこでも、子どもの身近な場所で本と親しむことができるように、地域の環境を整備していく必要があります。

特に、公立図書館は、子どもが学校以外で多くの本と出会える場所であり、自分で自由に選び、読書の楽しみや知識・情報を得ることのできる学びの場でもあります。

そのため、公立図書館では、年齢や目的に応じた図書等資料を計画的にそろえてその活用や普及に努めたり、子どもをもつ親が多く参加する行事や場所において、ブックスタート（セカンドブック、サードブック）や読み聞かせ等を企画するなど、読書習慣を身につけさせるような活動を推進していきます。

上野原市、教育委員会、PTA、小中学校、子ども育成会等、社会教育関係団体や、読み聞かせサークル等地域の子ども読書に関わるボランティア活動との連携・協力・人材育成により、一層効果的な活動へと展開していくことも大切です。

<具体的な取り組み>

①市立図書館は、子どもにとって魅力ある児童書の充実を図り、本を読みたいと思えるような情報提供に努めるとともに、他の公立図書館との間の相互貸借制度やボランティアの活用により、子どもたちのニーズに応じていきます。

②市立図書館において、屋上庭園を利用した読み聞かせ会などの子どもが読書に関心を持つようなイベントを開催します。

③地域の子ども育成会やPTA活動等の社会教育関係団体の活動を通じて、地域の保護者に子どもの読書活動への一層の理解を求め、協力を促していきます。

④子育て保健課、社会教育課、市などの関連施設と連携を図るとともに、子ども関連等の団体とも協力して、保護者と赤ちゃんとのおはなしの出会いを支援します。

⑤市立図書館は、学校、こども園などで子どもの読書活動を推進するための図書館協力者、ボランティアの養成講座、研修会を実施します。

⑥市立図書館は、推薦図書リストを作成したり、図書館行事のPR等子どもの読書活動推進のための啓発広報活動を行います。（広報、SNS、HP、掲示等）

3 「学校等」における子どもの読書活動の推進

学校等においては、学校図書館を通じて、子どもが生涯にわたって読書に親しむ習慣を形成するため、自由に読書を楽しむ、幅を広げていくことができるように環境を整備し、適切な支援を行う必要があります。

また、こども園や幼稚園等では、乳幼児が絵本や物語に親しむ機会を確保する観点から、安心して図書に触れることができるスペースの確保に努める必要があります。

学校図書館は、児童生徒にとって身近な場所であり、個別の読書指導や情報の取得を行える場としての機能を備えています。

子どもが、日々の成長とともに、質の高い読書を選ぶことができるように、知的好奇心を刺激し、

様々な興味・関心・疑問に応えられるような、魅力的な資料を整備・充実させていくことが必要です。司書等関係者は連携し、研修会への参加等で、質の向上に努めていくことも大切です。

<具体的な取り組み>

- ①こども園や幼稚園、子育て支援センター等は、安心して図書に触れることができるスペースの確保に努め、絵本や物語の読み聞かせが効果的に行えるような環境の整備を図り、子ども読書活動のため家庭との協働にも心がけます。
- ②小・中学校、高等学校は、市立図書館、県立図書館等と団体貸出や相互貸借などを活用して、児童・生徒の読書活動・学習活動の充実を図ります。
- ③司書等関係者は、保護者やボランティアとの連携を心掛け、皆で読書活動の環境整備に努めます。
- ④学校図書館に総合的な蔵書管理システムを導入するなど施設の充実に努めます。
- ⑤学校図書館は、児童・生徒が学習に応じて調べ方を身につけるための図書資料の整備に努めます。

4 関係機関の連携・協力による子どもの読書活動の推進

市立図書館は、学校図書館や県立図書館をはじめとした他の公立図書館と連携・協力し、地域・文化の振興や地域の人づくりに必要な施設・資料・運営のさらなる充実を図りつつ、子どもの読書活動を推進します。

市立図書館では、子どもの読書に関するボランティア等との協力のもと、おはなし会や読み聞かせ会を日常的に行っており、学校、放課後子供教室、放課後児童クラブ等においても、読み聞かせボランティア、市民団体等の協力を得ながら、子どもの読書活動を推進します。

<具体的な取り組み>

- ①市立図書館と学校図書館、県立図書館等公立図書館との連携・協力を推進します。学校図書館では、市立図書館や県立図書館等からの団体貸出制度を積極的に活用するとともに、相互に事業の交流を図ります。
- ②市立図書館や県立図書館等の公立図書館に加え、学童クラブ等においても、読み聞かせの会等、子どもが読書に関心を持つようなイベントを開催します。
- ③地域の子ども育成会やPTA活動等の社会教育関係団体、保護者やボランティアの活動等を通じて、子どもの読書活動への理解を深め、実践を働きかけていきます。



資料1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」 (平成13年12月成立)

<以下要旨 ※>

① 法律の目的：(第1条)

子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、子どもの健やかな成長に資する。

② 子どもの読書活動の推進に関する基本理念：(第2条)

子ども(おおむね十八歳以下の者)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

③ 国、地方公共団体の責務

国(第3条)：前条の基本理念にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、実施する責務を有する。

地方公共団体(第4条)：基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、実施する責務を有する。

④ 基本計画の策定・公表

国(第8条)：基本計画を策定・公表しなければならない。

県(第9条1項)：(国の基本計画を基本とし、)県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならない。

市町村(第9条2項)：(国、県の基本計画を基本とし、)当該市町村における子どもの読書活動の推進状況を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならない。

⑤ 事業者の努力(第5条)

事業者は、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努める。

⑥ 保護者の役割(第6条)

父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たす。

⑦ 関係機関等との連携強化(第7条)

国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に推進されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努める。

⑧ 4月23日を「子ども読書の日」とする(第10条2項)

資料2 国・県の基本計画（期間）

□国の基本計画 平成14年8月～

- 平成14年8月～ 「第1次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
- 平成20年3月～ 「第2次 〃 〃 」
- 平成25年5月～ 「第3次 〃 〃 」
- 平成30年5月～ 「第4次 〃 〃 」(第5次は、令和5年5月の策定予定)

□山梨県の基本計画 平成17年3月～

- 平成17年3月～ 「第1次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
- 平成24年3月～ 「第2次 〃 〃 」
- 平成29年3月～ 「第3次 〃 〃 」
- 平成34年(令和4年)年3月～ 「第4次 〃 〃 」(予定)

<県の計画の概要>

1次（平成17年3月～平成24年3月）7年間

- ・家庭、地域、学校等の担うべき役割を明示
- ・すべての子どもが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書生活を行うことができるよう、環境の整備、人材の育成、啓発活動に取り組んだ
- ・H24年11月に開館予定の県立図書館の整備計画に、拠点となる子ども読書支援センターの設置を盛り込み、果たすべき役割を明示

2次（平成24年3月～平成29年3月）5年間

- ・方向性と取組を明示
- ・市町村、民間団体においても積極的な取組を期待

3次（平成29年3月～平成33年3月）5年間

- ・2次の課題確認
 - ①学校段階が進むにつれて読書離れが進む傾向
 - ②地域における取組の差が顕著
 - ③学校図書館資料の整備が不十分
- ・情勢の変化 に対応

4次（令和4年3月～令和6年3月）2年間(予定)

- ・3次計画に追加
- ・計画策定のサイクルを修正(国計画－県計画－市町村計画のサイクル)

資料3 アンケート調査の内容及び集計結果

(1) アンケートの実施

「上野原市子ども読書活動推進計画」のための基礎資料を得るため、令和3年11月に市内の小学生、中学生、子どもが幼稚園、こども園、保育所、子育て支援センターに通う保護者を対象にアンケート調査を実施しました。調査票の配布は次のとおりです。

○小学生・中学生

	配布数	有効回答数	有効回答率
全小学校5年生	151通	147通	97.4%
全中学校2年生	158通	146通	92.4%
合計	309通	293通	94.8%

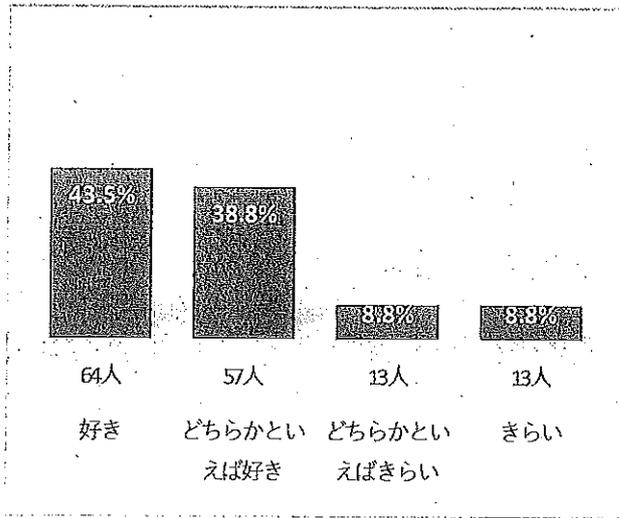
○未就学児保護者

	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児保護者(市内全施設)	459通	250通	54.5%

上野原市内小学校5年生調査結果

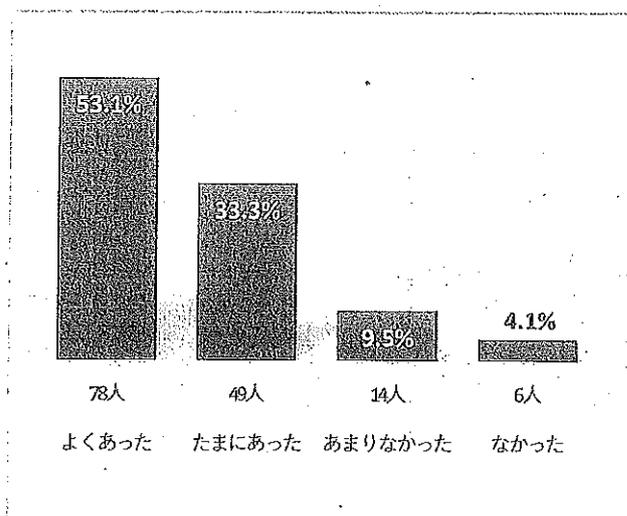
質問① あなたは本を読むことが好きですか？

	好き	どちらかとい えば好き	どちらかとい えばきらい	きらい	合 計
回答数	64人	57人	13人	13人	147人
構成比	43.5%	38.8%	8.8%	8.8%	99.9%



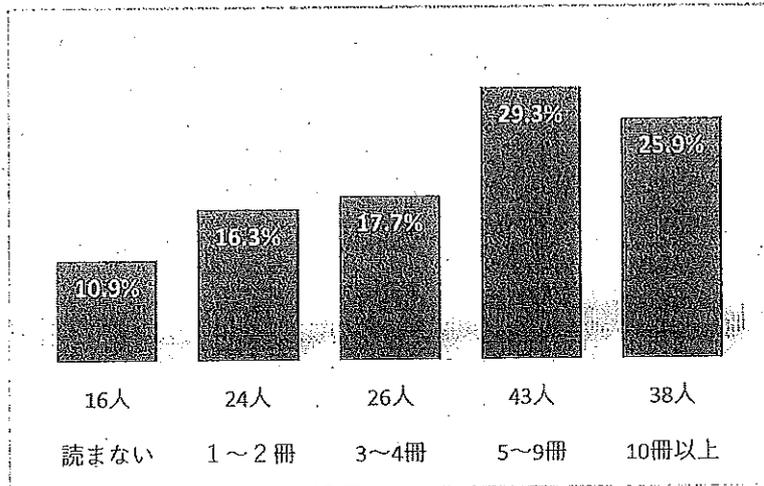
質問② あなたは小さいとき、大人に本を読んでもらったことがありますか？

	よくあった	たまに あった	あまりな かった	なかった	合 計
回答数	78人	49人	14人	6人	147人
構成比	53.1%	33.3%	9.5%	4.1%	100%



質問③ あなたは最近1か月の間で、本を何冊読みましたか？

	読まない	1～2冊	3～4冊	5～9冊	10冊以上	合計
回答数	16人	24人	26人	43人	38人	147人
構成比	10.9%	16.3%	17.7%	29.3%	25.9%	100.1%

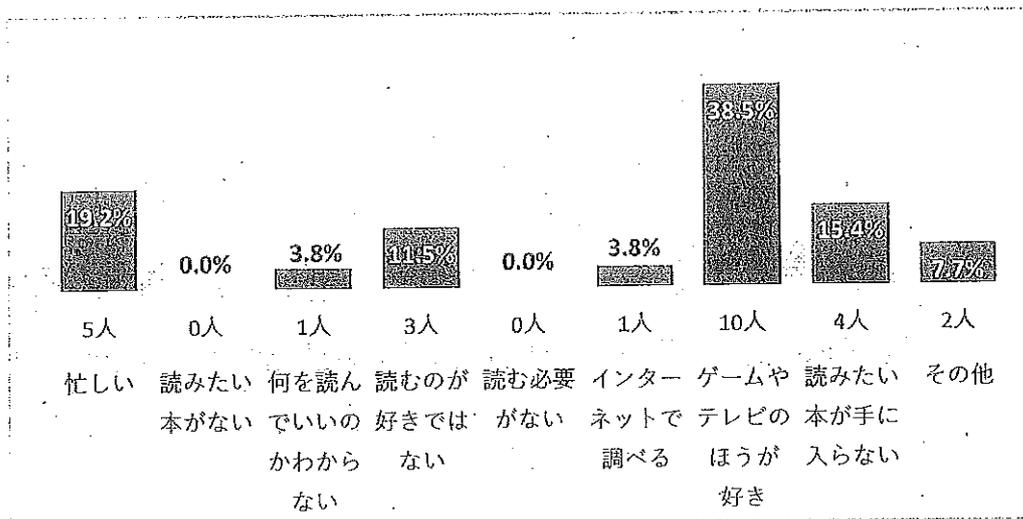


質問④ 質問③で「読まない」と答えた人に聞きます。

読まない理由は何ですか？（3つまで）

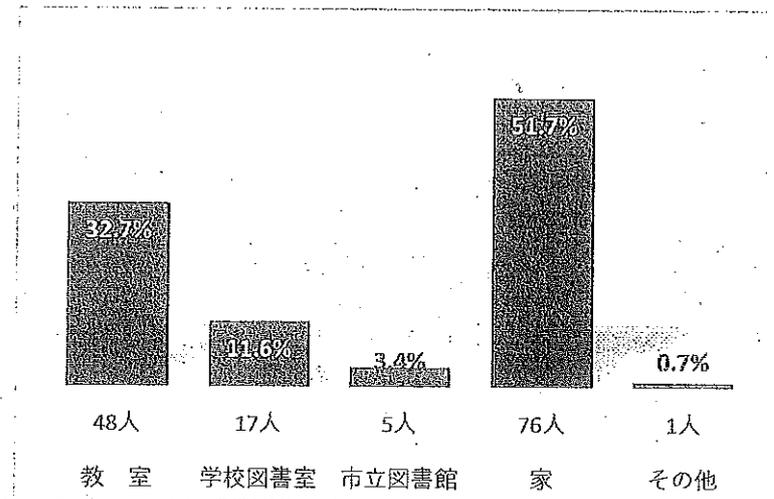
	忙しい	読みたい本がない	何を読んで	読むのが好きではない	読む必要がない	インターネットで調べる	ゲームやテレビのほうが好き
回答数	5人	0人	1人	3人	0人	1人	10人
構成比	19.2%	0.0%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%	38.5%

読みたい本が手に入らない	その他	合計
4人	2人	26人
15.4%	7.7%	99.9%



質問⑤ あなたは本を読むときどこで読むことが多いですか？

	教室	学校図書室	市立図書館	家	その他	合計
回答数	48人	17人	5人	76人	1人	147人
構成比	32.7%	11.6%	3.4%	51.7%	0.7%	100.1%

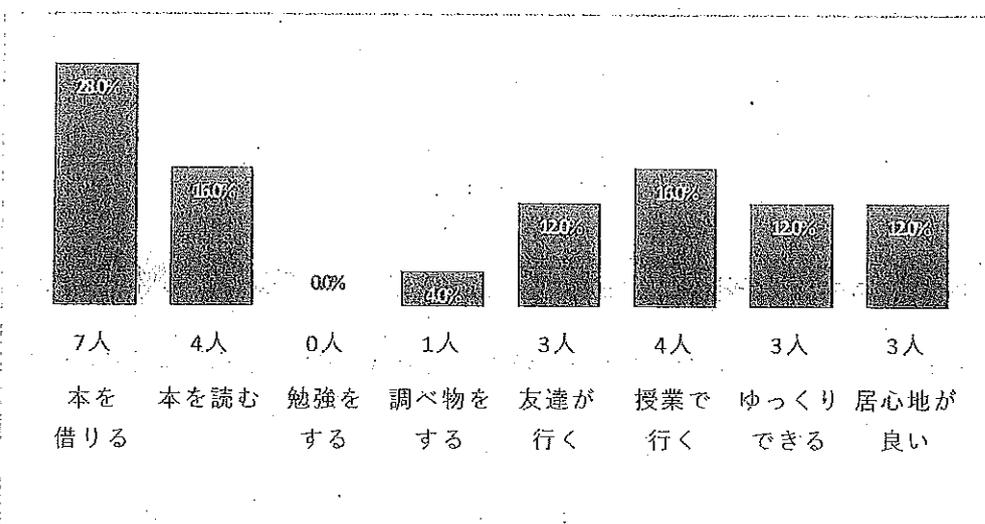


質問⑥ 質問⑤で「2.学校の図書室」と答えた人に聞きます。

学校の図書室を利用すると答えた理由は何ですか？（3つまで）

	本を借りる	本を読む	勉強をする	調べ物をする	友達が行く	授業で行く	ゆっくりできる
回答数	7人	4人	0人	1人	3人	4人	3人
構成比	28.0%	16.0%	0.0%	4.0%	12.0%	16.0%	12.0%

居心地が良い	合計
3人	25人
12.0%	100%

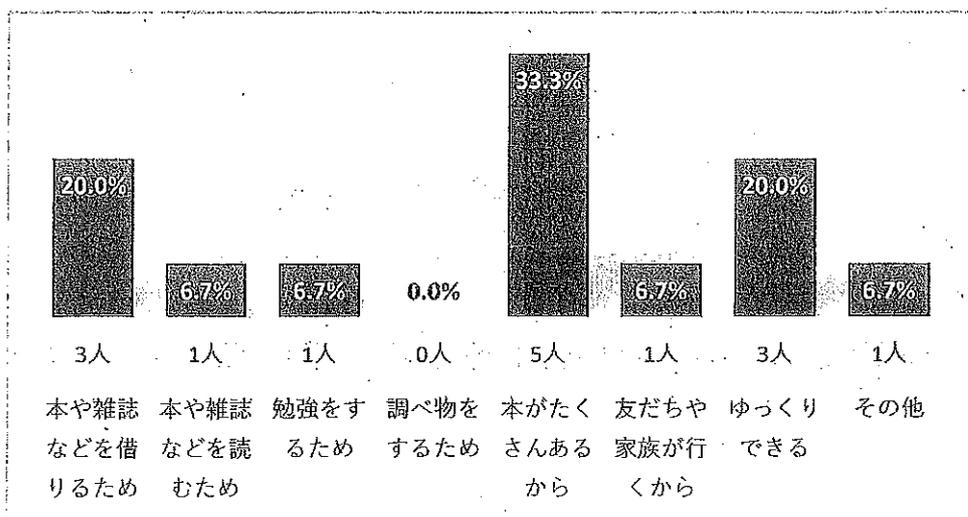


質問⑦ 質問⑥で「3.市立図書館」と答えた人に聞きます。

図書館を利用する理由は何ですか？（3つまで）

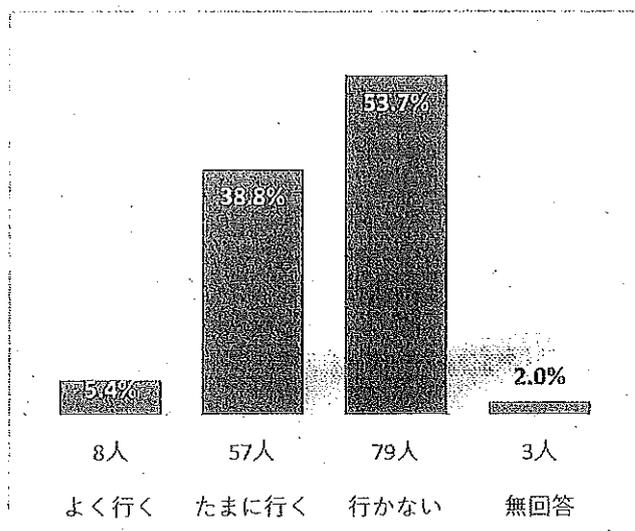
	本や雑誌などを借りるため	本や雑誌などを読むため	勉強をするため	調べ物をするため	本がたくさんあるから	友だちや家族が行くから	ゆっくりできる
回答数	3人	1人	1人	0人	5人	1人	3人
構成比	20.0%	6.7%	6.7%	0.0%	33.3%	6.7%	20.0%

その他	合計
1人	15人
6.7%	100.1%



質問⑧ あなたは市立図書館へ行きますか？

	よく行く	たまに行く	行かない	無回答	合計
回答数	8人	57人	79人	3人	147人
構成比	5.4%	38.8%	53.7%	2.0%	99.9%

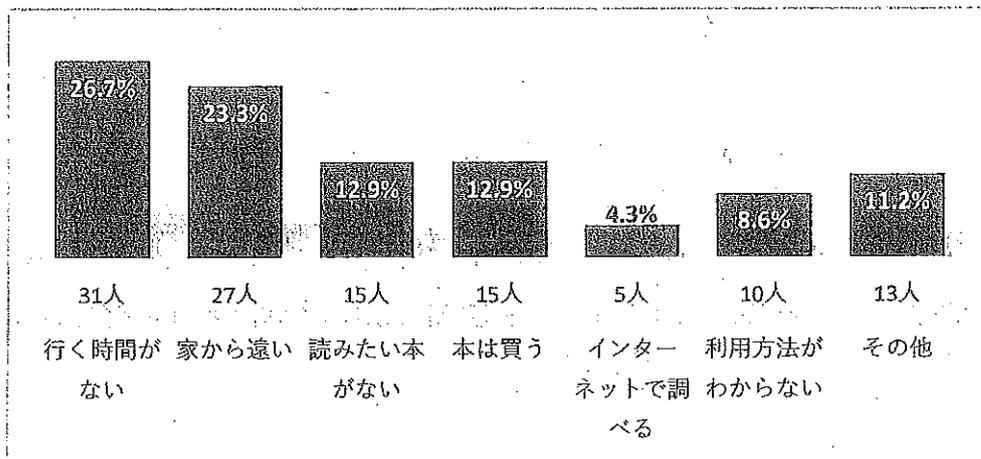


質問⑨ 質問⑧で、「3、行かない」と答えた人に聞きます。

図書館に行かない理由は何ですか？（3つまで）

	行く時間がない	家から遠い	読みたい本がない	本は買う	インターネットで調べる	利用方法がわからない	その他
回答数	31人	27人	15人	15人	5人	10人	13人
構成比	26.7%	23.3%	12.9%	12.9%	4.3%	8.6%	11.2%

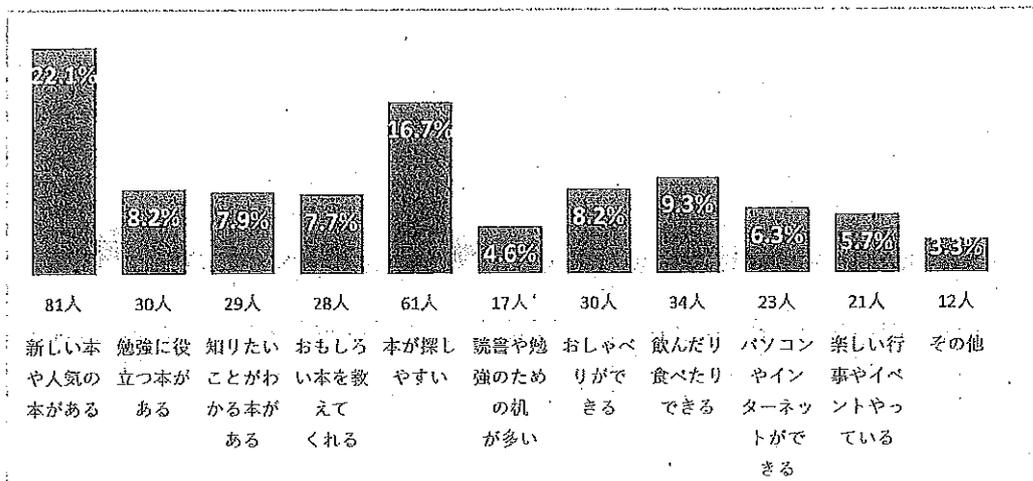
合計
116人
99.9%



質問⑩ どんな図書館がいいですか%

	新しい本や人気の本がある	勉強に役立つ本がある	知りたいことがわかる本がある	おもしろい本を教えてください	本が探しやすい	読書や勉強のための機が多い	おしゃべりができる
回答数	81人	30人	29人	28人	61人	17人	30人
構成比	22.1%	8.2%	7.9%	7.7%	16.7%	4.6%	8.2%

飲んだり食べたりできる	パソコンやインターネットができる	楽しい行事やイベントをやっている	その他	合計
34人	23人	21人	12人	366人
9.3%	6.3%	5.7%	3.3%	100%



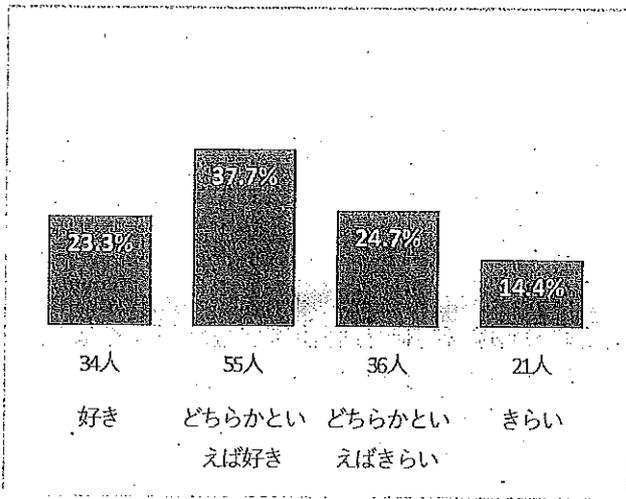
質問⑩ その他

- 一人でゆったり静かに本を読めるスペースがあるといい。
- 何をしに行くか分からないから図書館には行かない。
- 自分の知らない本が多い図書館がいい。
- ファンブックや雑誌がある図書館がいい。
- 探している本が、どこにあるのかわからないから行かない。
- BTSやカラフルピーチなどの動画や歌を聴ける場所を作ってほしい。
- なぜ、こういうアンケートをするのですか。意味があるのですか。
- 学校に図書室があるから、市立図書館には行かない。
- 行く必要がないから、図書館には行かない。
- 何でアンケートが本や場所のことだけなのですか。
- 読みやすく、面白い本があるといい。
- 児童コーナーの勉強スペースを小さな子ども向けの遊び場と離してほしい。
- なぜ図書館はおしゃべり禁止なのですか。
- 人気の本がどこにあるのか知りたい。
- ほかの人が借りていて利用できないことがあったので、そのようなときでも読んだり見たりできるようにしてほしい。
- 図書館がどこにあるか分からないから行かない。
- マンガ本があるといい。
- マンガ本は何でないのですか。
- 何かと忙しくなったから図書館に行けない。
- どのように借りて返していいのかわからないから行かない。
- 場所がわからないから行けない。
- 好きな本がたくさんある図書館がいい。
- 本は学校で読むから市立図書館へは行かない。
- 市立図書館へは行かないけれど、本屋さんには行く。
- 上の本が高すぎて取れないので、低くしてほしい。
- 借りてよい本なのか、だめなのか区別してほしい。
- もっと、DVDやCDを増やしてほしい。
- 本がを見つけやすくしてほしい。
- 小説などがたくさんある図書館がいい。
- 広くて分かりにくいので、分類をしっかりと書いてほしい。
- 飲食できるスペースがあったら、食べてからついでに本を借りていくことができると思う。
- マンガ喫茶のような飲食しながら本を読める場所がほしい。

上野原市内中学校2年生調査結果

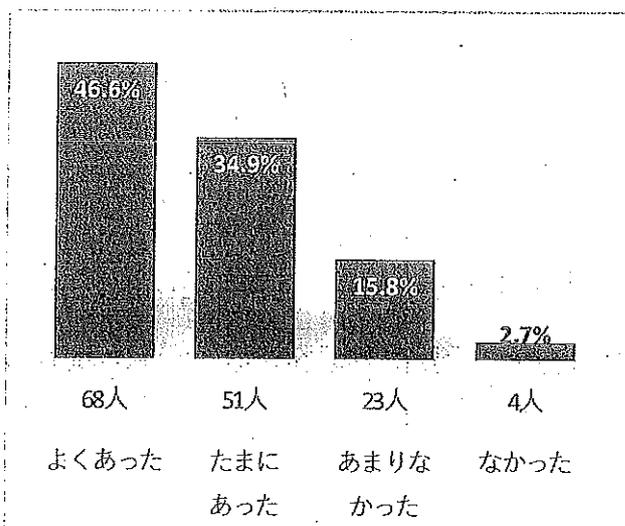
質問① あなたは本を読むことが好きですか？

	好き	どちらかとい えば好き	どちらかとい えば嫌い	嫌い	合計
回答数	34人	55人	36人	21人	146人
構成比	23.3%	37.7%	24.7%	14.4%	100.1%



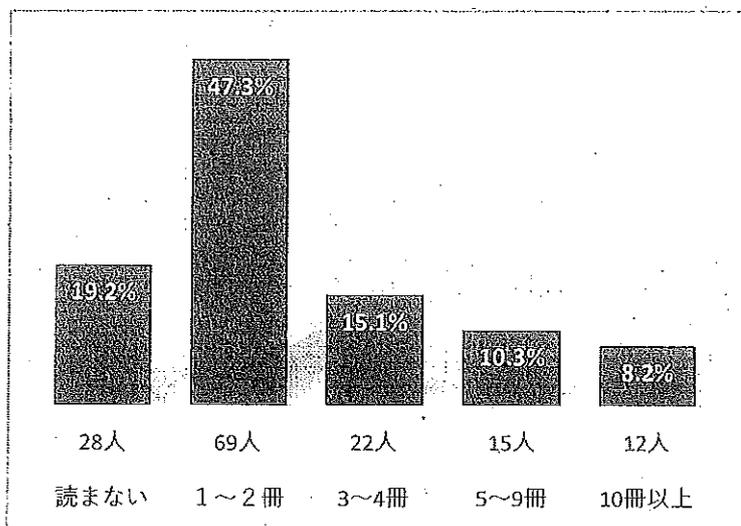
質問② あなたは小さいとき、大人に本を読んでもらったことがありますか？

	よくあった	たまに あった	あまりな かった	なかった	合計
回答数	68人	51人	23人	4人	146人
構成比	46.6%	34.9%	15.8%	2.7%	100%



質問③ あなたは最近1か月の間で、本を何冊読みましたか？

	読まない	1～2冊	3～4冊	5～9冊	10冊以上	合計
回答数	28人	69人	22人	15人	12人	146人
構成比	19.2%	47.3%	15.1%	10.3%	8.2%	100.1%

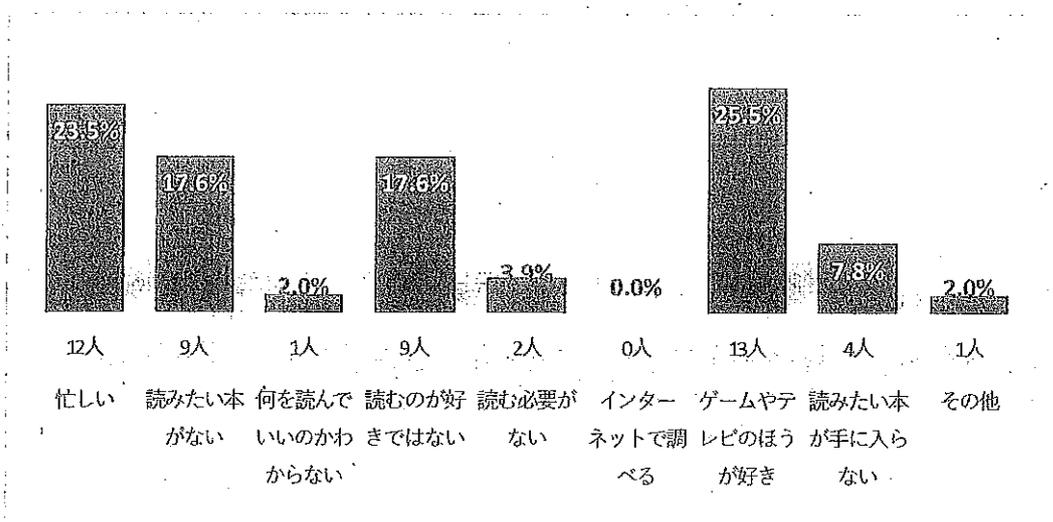


質問④ 質問③で「読まない」と答えた人に聞きます。

読まない理由は何ですか？（3つまで）

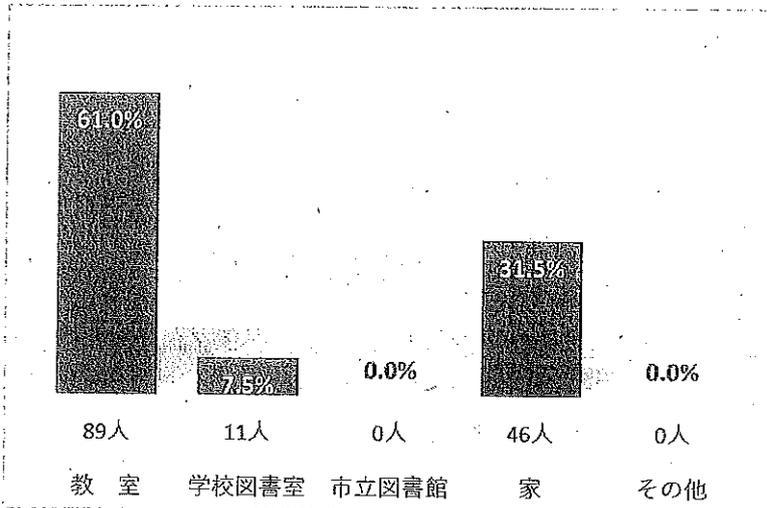
	忙しい	読みたい本がない	何を讀んでいいのかわからない	読むのが好きではない	読む必要がない	インターネットで調べる	ゲームやテレビのほうが好き
回答数	12人	9人	1人	9人	2人	0人	13人
構成比	23.5%	17.6%	2.0%	17.6%	3.9%	0.0%	25.5%

読みたい本が手に入らない	その他	合計
4人	1人	51人
7.8%	2.0%	99.9%



質問⑤ あなたは本を読むときどこで読むことが多いですか？

	教室	学校図書室	市立図書館	家	その他	合計
回答数	89人	11人	0人	46人	0人	146人
構成比	61.0%	7.5%	0.0%	31.5%	0.0%	100%

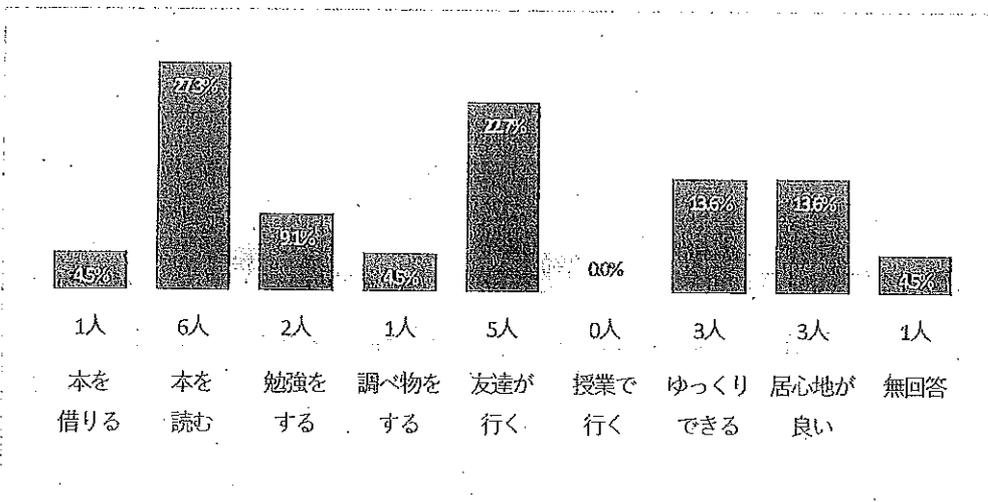


質問⑥ 質問⑤で「2.学校の図書室」と答えた人に聞きます。

学校の図書室を利用すると答えた理由は何ですか？ (3つまで)

	本を借ります	本を読む	勉強をする	調べ物をする	友達が行く	授業で行く	ゆっくりできる
回答数	1人	6人	2人	1人	5人	0人	3人
構成比	4.5%	27.3%	9.1%	4.5%	22.7%	0.0%	13.6%

居心地が良い	無回答	合計
3人	1人	22人
13.6%	4.5%	99.8%

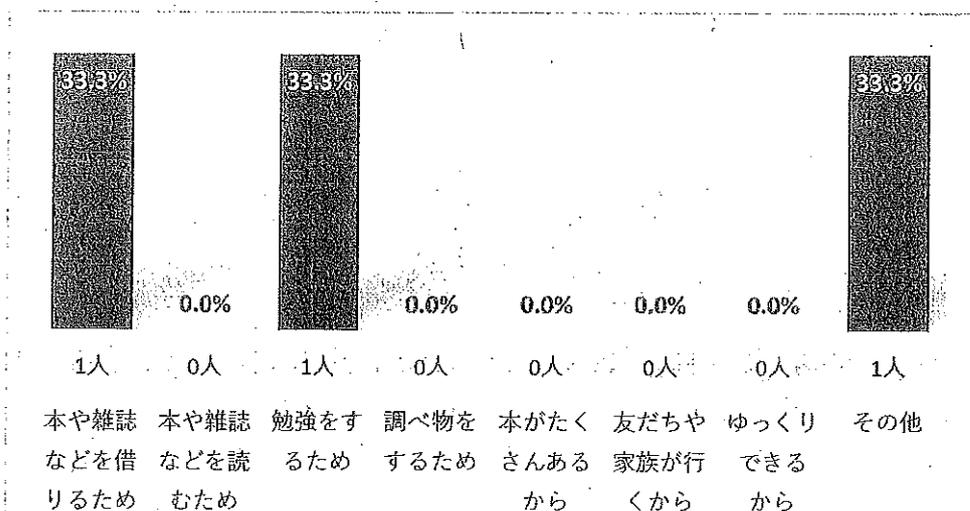


質問⑦ 質問⑥で「3.市立図書館」と答えた人に聞きます。

図書館を利用する理由は何ですか？（3つまで）

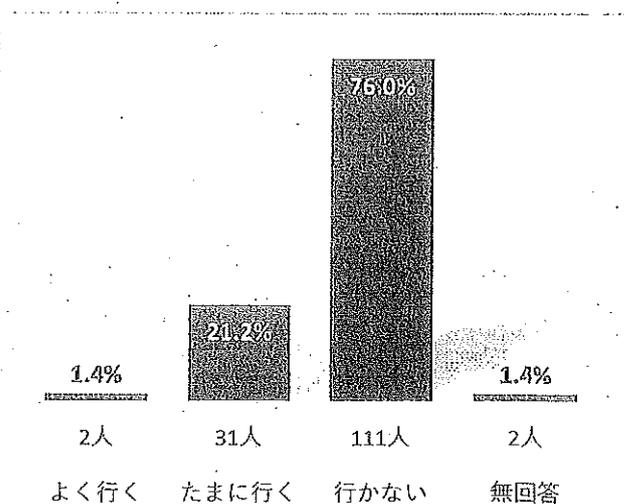
	本や雑誌などを借りるため	本や雑誌などを読むため	勉強をするため	調べ物をするため	本がたくさんあるから	友だちや家族が行くから	ゆっくりできるから
回答数	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
構成比	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他	合計
1人	3人
33.3%	99.9%



質問⑧ あなたは市立図書館へ行きますか？

	よく行く	たまに行く	行かない	無回答	合計
回答数	2人	31人	111人	2人	146人
構成比	1.4%	21.2%	76.0%	1.4%	100%

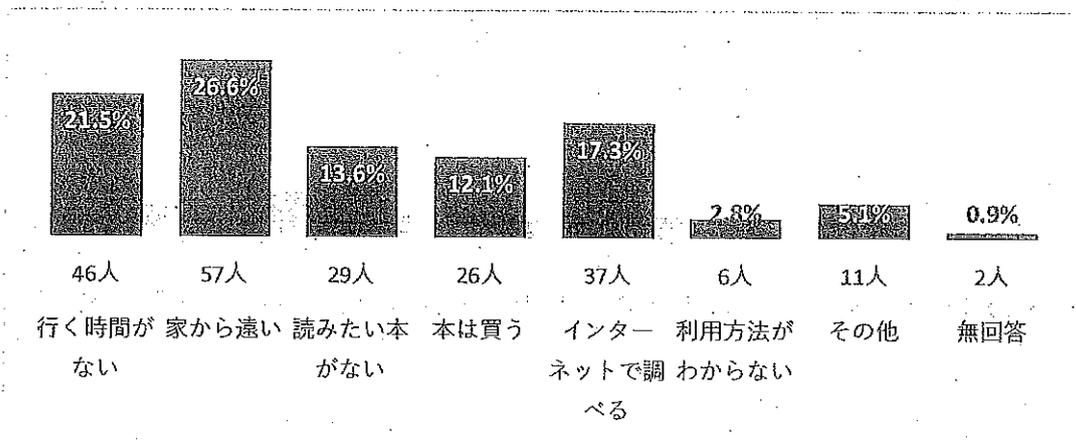


質問⑨ 質問⑧で、「3、行かない」と答えた人に聞きます。

図書館に行かない理由は何ですか？（3つまで）

	行く時間がない	家から遠い	読みたい本がない	本は買う	インターネットで調べる	利用方法がわからない	その他
回答数	46人	57人	29人	26人	37人	6人	11人
構成比	21.5%	26.6%	13.6%	12.1%	17.3%	2.8%	5.1%

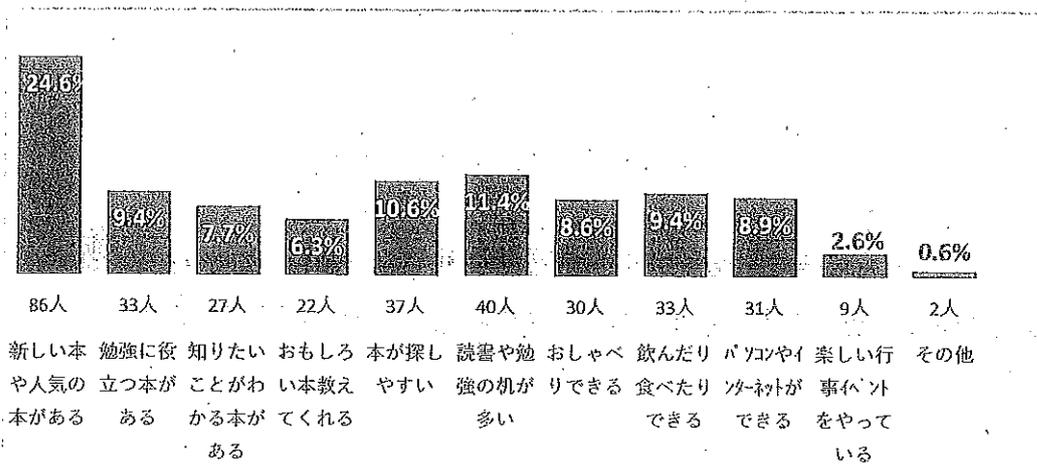
無回答	合計
2人	214人
0.9%	99.9%



質問⑩ どんな図書館がいいですか？

	新しい本や人気の本がある	勉強に役立つ本がある	知りたいことがわかる本がある	おもしろい本教えてくれる	本が探しやすい	読書や勉強の機会が多い	おしゃべりできる
回答数	86人	33人	27人	22人	37人	40人	30人
構成比	24.6%	9.4%	7.7%	6.3%	10.6%	11.4%	8.6%

飲んだり食べたりできる	PCやインターネットができる	楽しい行事イベントをやっている	その他	合計
33人	31人	9人	2人	350人
9.4%	8.9%	2.6%	0.6%	100.1%



質問⑪ その他

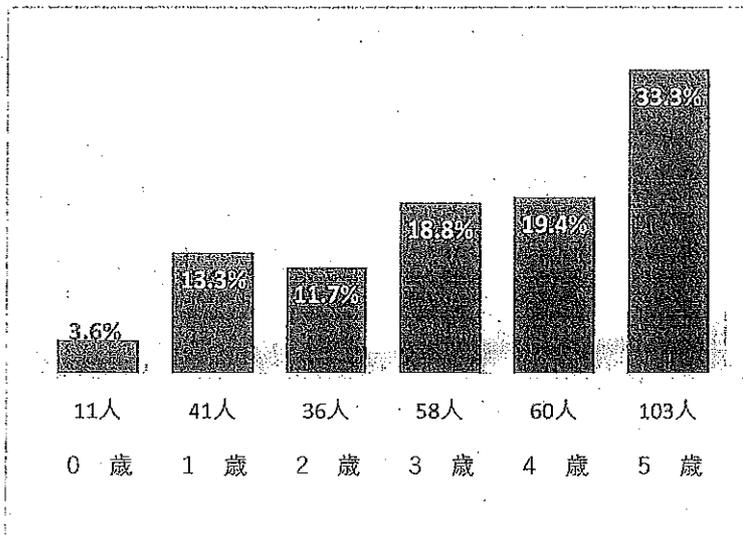
- ・秋山に住んでいるので、もう少し近くに図書館があると友達と待ち合わせをしたりしてよく行くと思う。
- ・学校図書室で借りるから市立図書館へは行かない。
- ・面倒くさいから行かない。
- ・市立図書館へは行く必要がない。
- ・勉強のために行きたいと思っているが、小学生が多いので、勉強しにくく視線を感じるのでひとりのスペースを作ってほしい。
- ・しっかりとした勉強スペースがあり、しきりがあるような図書館がいい。
- ・面倒くさいから行かない。
- ・これからも面白い本をいっぱい読みたい。
- ・アニメディアなどのアニメ雑誌などをおいてほしい。
- ・学校の図書室で十分だから行かない。
- ・静かな図書館がいい。
- ・本を読むのが好きではないから行かない。
- ・場所がわからないから行かない。
- ・つまらないから行かない。
- ・必要がないから行かない。
- ・マンガをもっと増やしてほしい。

上野原市内の未就学児の保護者調査結果

質問① お子さんは何歳ですか？

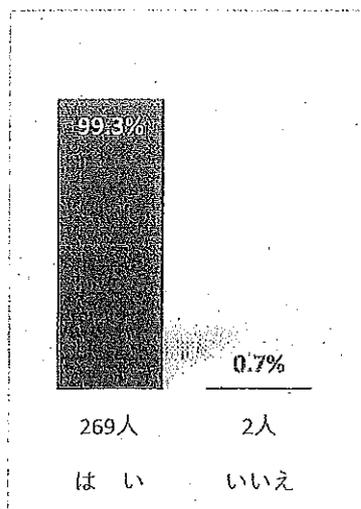
(複数回答可)

	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
回答数	11人	41人	36人	58人	60人	103人	309人
構成比	3.6%	13.3%	11.7%	18.8%	19.4%	33.3%	100.1%



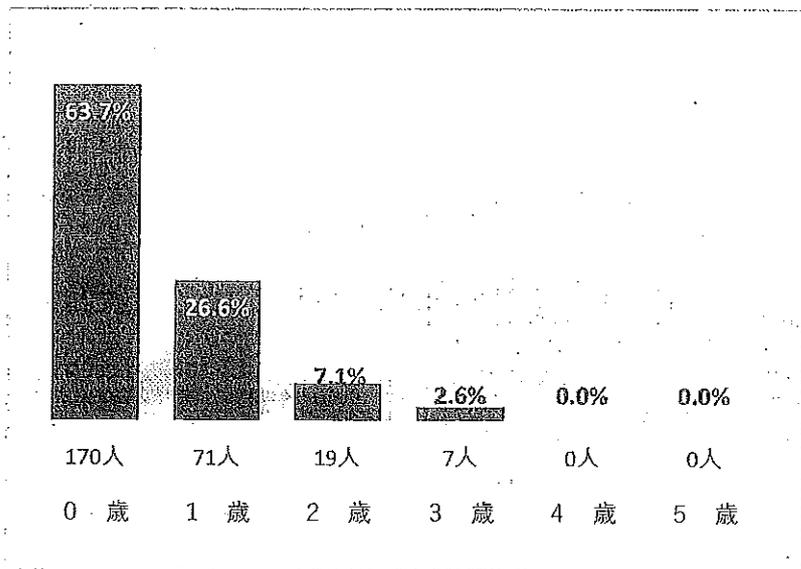
質問② ご家庭でお子さんに本を読んであげたことがありますか？

	は い	いいえ	合 計
回答数	269人	2人	271人
構成比	99.3%	0.7%	100%



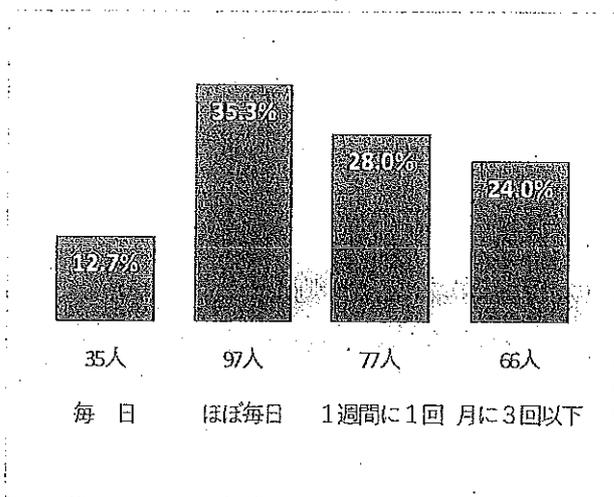
質問③ 読み聞かせを始めたのは、お子様が何歳のときですか？

	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
回答数	170人	71人	19人	7人	0人	0人	267人
構成比	63.7%	26.6%	7.1%	2.6%	0.0%	0.0%	100%



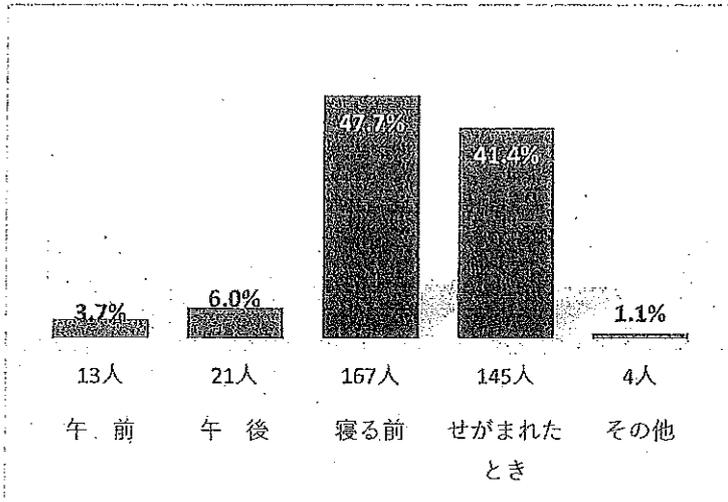
質問④ お子様への読み聞かせの頻度はどれくらいですか？

	毎 日	ほぼ毎日	1週間に1回	月に3回以下	合 計
回答数	35人	97人	77人	66人	275人
構成比	12.7%	35.3%	28.0%	24.0%	100%



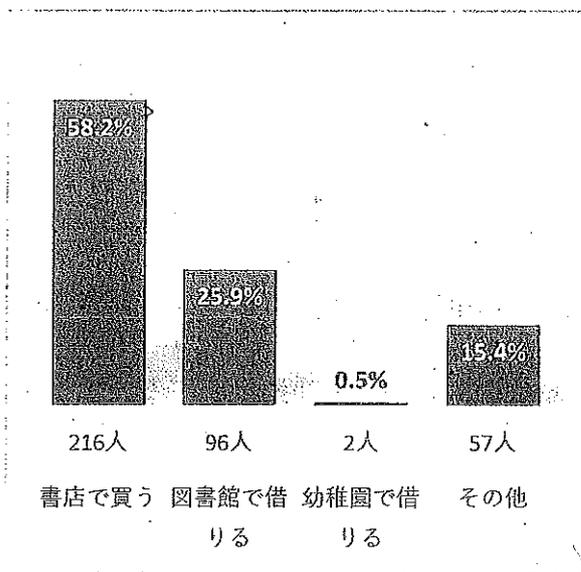
質問⑤ 読み聞かせをするときはいつですか？

	午前	午後	寝る前	せがまれたとき	その他	合計
回答数	13人	21人	167人	145人	4人	350人
構成比	3.7%	6.0%	47.7%	41.4%	1.1%	99.9%



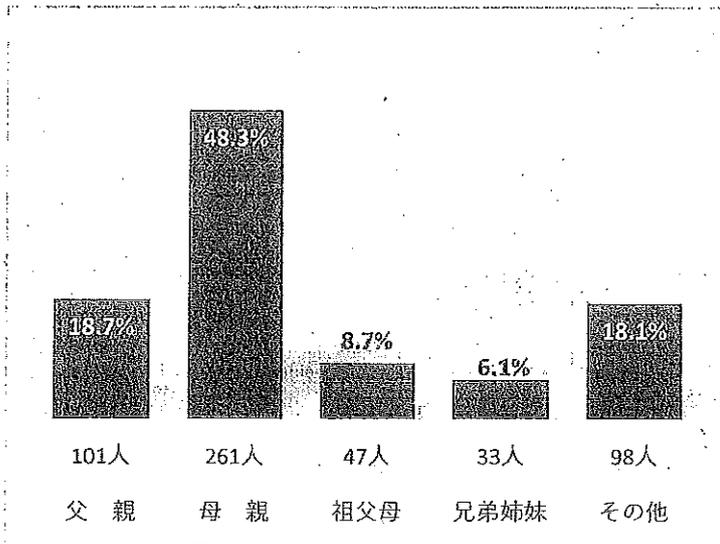
質問⑥ 読み聞かせに使う本はどこで入手しますか？

	書店で買う	図書館で借りる	幼稚園で借りる	その他	合計
回答数	216人	96人	2人	57人	371人
構成比	58.2%	25.9%	0.5%	15.4%	100%



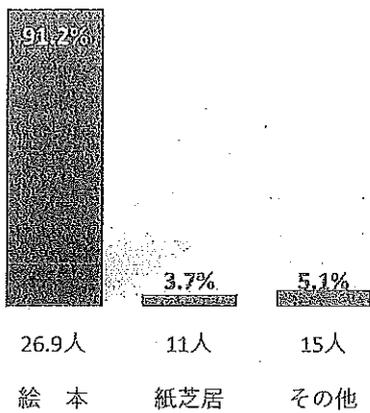
質問⑦ どなたが読み聞かせをしますか？

	父 親	母 親	祖父母	兄弟姉妹	その他	合 計
回答数	101人	261人	47人	33人	98人	540人
構成比	18.7%	48.3%	8.7%	6.1%	18.1%	99.9%



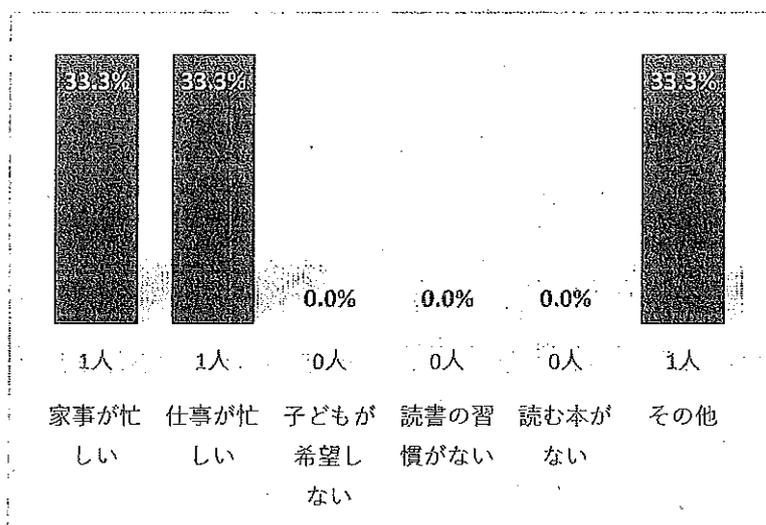
質問⑧ 主に何をよみますか？

	絵 本	紙芝居	その他	合 計
回答数	269人	11人	15人	295人
構成比	91.2%	3.7%	5.1%	100%



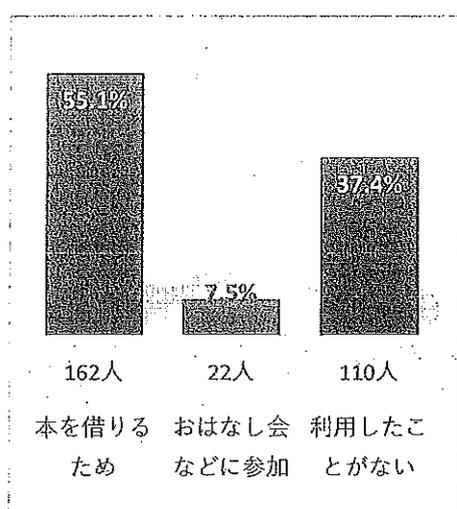
質問⑨ 質問②で「2.いいえ」と答えた人に聞きます。読み聞かせをしない理由は何ですか？

	家事が忙しい	仕事が忙しい	子どもが希望しない	読書の習慣がない	読む本がない	その他	合計
回答数	1人	1人	0人	0人	0人	1人	3人
構成比	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	99.9%



質問⑩ 図書館を利用したことがありますか？

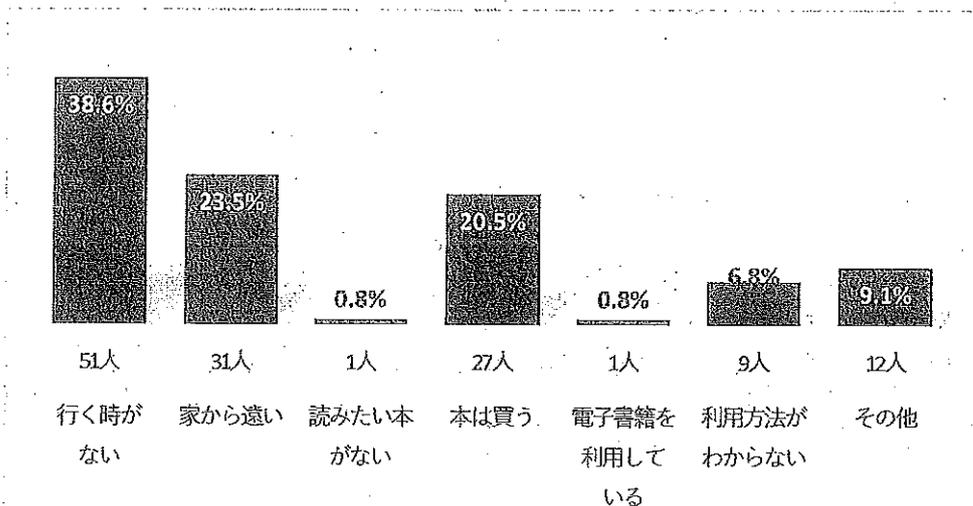
	本を借りる	おはなし会などに参加	利用したことがない	合計
回答数	162人	22人	110人	294人
構成比	55.1%	7.5%	37.4%	100%



質問⑪ 質問⑩で「3.利用したことがない」と答えた人に聞きます。

市立図書館を利用しない理由は何ですか？

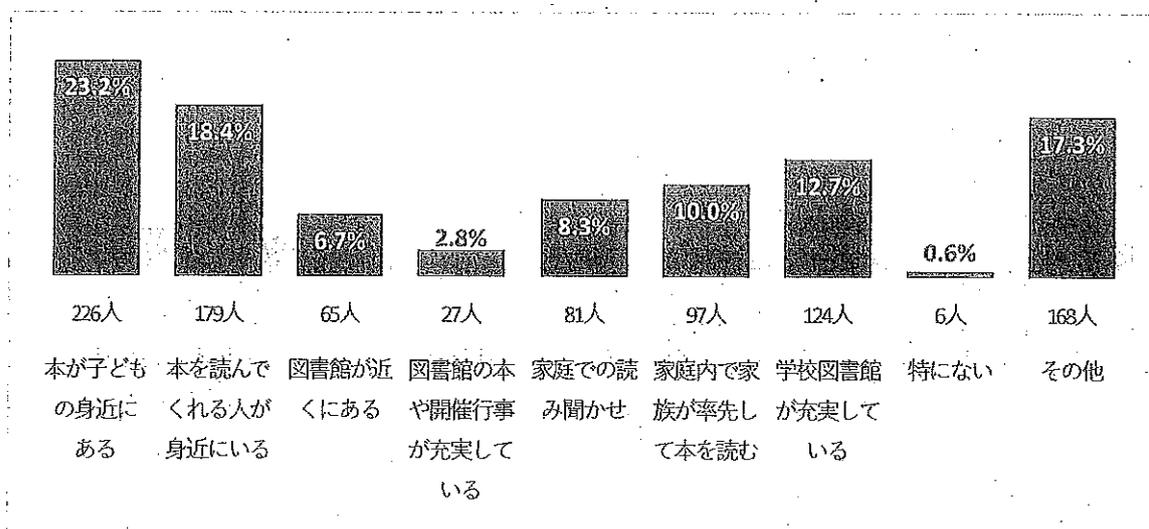
	行く時がない	家から遠い	読みたい本がない	本は買う	電子書籍を利用している	利用方法がわからない	その他	合計
回答数	51人	31人	1人	27人	1人	9人	12人	132人
構成比	38.6%	23.5%	0.8%	20.5%	0.8%	6.8%	9.1%	100.1%



質問⑫ 子ども読書を推進するために必要と思われることは何ですか？（3つまで）

	本が子どもの身近にある	本を読んでくれる人が身近にいる	図書館が近くにある	図書館の本や開催行事が充実している	家庭での読み聞かせ	家庭内で家族が率先して本を読む	学校図書館が充実している	特にない
回答数	226人	179人	65人	27人	81人	97人	124人	6人
構成比	23.2%	18.4%	6.7%	2.8%	8.3%	10.0%	12.7%	0.6%

その他	合計
168人	973人
17.3%	100%



質問⑬ その他

- ・場所がわからないから行けない。
- ・田舎だから汚そう。
- ・静かに利用できないから行けない。
- ・まだ子供が小さいから、3人の子どもを連れて行くのは大変だし、うるさいから行けない。
- ・なかなか行く機会がない。
- ・行くという考えがない。
- ・子どもの好きそうな本を30冊くらい並べておくと自分で読むから大丈夫と言ひ、妹にも読み聞かせているので、おもちゃよりも絵本を買ってあげることが多い。
- ・小さい子供を連れて行っても、周りを気にせず利用できるような環境作りをしてほしい。
- ・上野原図書館が自宅から徒歩圏内にあるので子どもたちが本を身近に感じられてうれしい。
- ・2週間に一回本を5~6冊借りて毎晩寝る前に読み聞かせするのが日課になっている。
図書館の本はとても充実していて助かっている。
- ・私は幼いころから読書をしてこなかったもので、今とても後悔している。子どもには読書を通して色々な言葉や表現を学んで、夢を描くきっかけを作ってほしいと思い、図書館に通っている。
いつも充実した絵本をありがとうございます。大人向けの文庫も最新のものを増やしていただけるとうれしい。
- ・私も読書が好きで、子どもたちにも好きになってほしいので興味がある本は読んであげたい。
学校の図書館もとても充実しているようで、上の子もよく借りてくる。本の内容を想像してほしい。
- ・図書館の絵本はページが取れかかっていたり、破れていたりすることがあるので、長く楽しめるように返却時などに中をチェックして修繕しておいてほしい。
絵本の表紙の裏に絵があることがあるが、カバーの折り込みが表紙の裏までかかった状態で貼りつけてあると、裏の絵が見えない。同じ裏でも始めと終わりで異なっている場合もあるので気になる。
- ・新しい本や魅力的な本をもっと上野原市立図書館に置いてほしい。
- ・図書館はお話会や英語の読み聞かせなど素敵なイベントをやっているのに参加者が少ないのが残念。
映画の上映会も楽しかったしその後子どもの興味も広がって良かった。
今はコロナで利用を控えているが、また利用しに行きたい。イベントが減ったり、なくなったりしないといいと思っている。
- ・家でもよく本を買うので図書館ではシリーズものが増えると嬉しい。好きになった絵本のシリーズがあると必ず借りたがるがなかなか増えない。(ワニのバルボン、ワニワニシリーズ、ばばあちゃん)
- ・上野原出身の友達が学生時代図書館で勉強していて追い出されたといっていて信じられない。
様々な利用の仕方がある市民の憩いの場であってほしい。
- ・子どもの遊べるスペースがあるのは、すごくよい。
- ・幼児向けのお話会などが平日の午前中などにあるとさらに利用者が増えると思う。
- ・DVDをもう少し充実させてほしい。
- ・受付前のおすすめコーナーはとてもありがたい。時間のないときに役立つ。
- ・上野原市立図書館は小さな子も連れていきやすくてとても好きだが、絵本の種類が少なく感じる。
たくさんの本に触れてほしいので読書活動推進計画はとても良いと思う。
- ・今までは購入した本を読み聞かせていたが長男が小学校の図書館から様々な本を借りてくるように

なり、妹二人も一緒に興味深く聞くようになった。学校図書館の充実がありがたい。

- ヨシタケ、シンスケの本をもう少しおいてほしい。
- 絵本をぐちゃぐちゃに破ってしまう、遊びながら一緒に見たいがうまく使えていない。
- こども園にもおはなし会にきてほしい。
- コロナになってから利用がなくなった。また機会を見て利用したい
- お話会や映画上映会などのイベントをしていることを知っている人が少ないし情報も入ってこないのもっと広範囲の告知(SNS,チラシを学校や園に掲示、配布など)とても良いイベントなので多くの人に知ってもらいたい。
- DVDは古いものでなく魅力あるものにしてほしい。季節を感じられるものもよい。
- 図書館は静かにしていないといけないイメージがあり小さな子がいると行きにくいと思っていた。
- インターネット社会が進むにつれ子どもの本離れが進んでいるように思う。
- 引っ越してきたばかりで知らなかった。今後は利用したい。
- 「本を読む」ということはいくつになっても大切なこと、幼児期から本に触れあうのは良いことなので、どんどんすすめたらいい。
- 図書館が他の施設と併設されていないので、ついでに本を借りて帰るといった気軽に立ち寄れる場所ではない。
- 広さや蔵書が十分にあるが、寝転んだり壁に寄りかかったり、自由に本を読めるスペースになっていない。
- 本の交換会やマーケット的なことを定期的で開催すれば沢山の人が出入りするのではないと思う。
- 感染症対策で仕方がないが、図書館に入って良いかわからず何度か入口まで行って帰ってきた。入館する際、誰でもわかるよう利用案内を詳しく掲示してほしい。
- 蔵書の並びがよくわからない。
- 図書館の情報がよくわかるアプリなどあればよい
- もっといろいろな絵本を身近に手に取ることができるよう移動図書館などがあるとよい。
- 年齢別におすすめの絵本を紹介した小冊子を置いてほしい。
- 新しい本や魅力的な本をもっと増やしてほしい。
- 外国語の本を増やしてほしい。
- 絵本を破ってしまうので、絵本は読んであげたいがなかなかうまく使えない。
- もっとたくさんの本が読みたい。
- 家で不用になった本を気軽に寄贈できるとよい。
- 幼少期から本を読むことは良いことだと思う。
- ブックスタートでもらった本を愛読している。ぜひ図書館の本も利用したい。
- 図書館のイベント開催はありがたい。
- 図書館は静かなイメージ。小さな子供がいると行きづらい。
- 長男が学校で借りる本と一緒に読んでいる。学校の絵本が充実していることがありがたい。
- おはなし会や、映画会などイベントを開催していることがあまり知られていない。とても良い事業なのでもっとSNSや学校などにチラシを掲示してもらい、多くの人に知ってもらいたい。
- 新しいDVDや季節を感じることでできるものをもっと増やしてほしい
- 読み聞かせや、その他イベントをたくさん開催してくれて感謝している。

(2) アンケート調査結果にみる小・中学生や保護者の読書活動についての考察

○小・中学生のアンケート結果

読書の好き嫌いに関する質問です。

小学校5年生は121人(82.3%)が「好き」「どちらかといえば好き」と答えています。中学校2年生は89人(61%)が、「好き」、「どちらかといえば好き」と回答しています。一方、「読書が嫌い」、「どちらかといえば嫌い」と答えた小学校5年生が26人(17.7%)、中学校2年生が57人(39%)という結果でした。

全体として読書好きの子どもが210人(71.7%)と大多数を占めていることが分かりましたが、中学生になると読書嫌いの割合が増えており、小学生からの継続的な読書活動の支援が求められています。

読書量についての質問です。

全体では、月1冊以上本を読む子どもが249人(85%)と全体の8割を超えています。

学校別では、小学校5年生が131人(89.1%)、中学校2年生が118人(80.8%)となっています。特に小学校5年生は、5冊以上の本を読む子どもが81人(55.1%)と半数を超えています。

一方、読まない子どもは、全体で44人(15%)いました。

学校別では、小学校5年生が16人(10.9%)、中学校2年生が28人(19.2%)で、中学生になると本を読まない子どもが増える傾向にあります。市立図書館でも小学生と比べると、中学生・高校生の利用数は少ないのが現状です。中高生への読書活動支援が必要といえます。

なお、子どもが本を読まない理由で全体として最も多いのが「ゲームやテレビのほうが好き」という理由でした。

図書館に関する質問です。

全体として図書館に行かない子どもは190人(64.8%)と6割を超えています。

学校別では、小学校5年生が79人(53.7%)、中学校2年生が111人(76%)となっています。行かない理由は、全体として「行く時間がない」、「家から遠い」が161人(48.8%)となっています。地域の図書館として、子どもたちがどこでも利用できるよう移動図書館等も含めた支援が求められています。また、「どんな図書館がいいですか?」との質問では、小学校5年生、中学校2年生ともに「新しい本や人気の本がある」が最も上位で答えており、図書館資料の一層の整備充実が必要といえます。

○保護者のアンケート結果

家庭での読み聞かせの状況についての質問です。

家庭で読み聞かせを「している」保護者が269人(99.3%)、読み聞かせの頻度については、「1週間に1回」と以上を回答した保護者が合計209人(76%)で7割以上を占めています。

その中で、「毎日」、「ほぼ毎日」と答え、継続して子どもに読み聞かせをしている保護者が132人(48%)います。

読み聞かせを始めた時期では、「0歳」、「1歳」が上位を占めており、「0歳」は170人(63.7%)で、全体の6割を超えています。このように上野原市内では比較的早い時期から家庭において子どもへの読み聞かせが行われていることが分かり、子育て保健課と市立図書館が連携したブックスタート事業等保護者への家庭での読み聞かせの啓発が進んでいる結果といえます。子どもが読書習慣を身につけるには、家庭が重要な役割を担います。今後も保護者に対し積極的に家庭での読書活動を推進していく必要があります。

本の入手方法では、「書店で買う」が最も多く216人(58.2%)、「図書館で借りる」が2番目に多い96人(26.9%)という結果でした。図書館で本を借りる割合が低く、図書館の利用方法、イベントなど市民への周知不足がうかがわれます。図書館として市民への積極的なPRが求められます。